

より良いまちづくりを目指して

～平成18年度地区懇談会～

10月31日(火)から、地域の問題を市民と行政で考え、住み良いまちづくりを目指す平成18年度地区懇談会（市主催）が行われました。

懇談会は、地区連合町内会単位を基本に、11月24日(金)までに市内10会場で開催。はじめに、『登別市の財政状況』と題して、過去10年間の財政の状況を情報提供し、地方交付税や市税などの収入が年々減っている中、借金の返済などの支出が増えていく厳しい状況が話されました。

懇談会では、各地区連合町内会などから提出された、防災対策や公園整備、交通安全などに関する31件のテーマの解決に向けて意見交換を行ったほか、社会問題になっているいじめに対する市の取り組みなどについて、聞いていました。

参加した方たちは、市の厳しい財政状況を踏まえながら、住み良いまちづくりに向けて、真剣に議論を展開していました。



春になったら外に飾りたい



～みどりの講習会

『多肉植物の壁掛けづくり』～

10月26日(木)、市民会館視聴覚室でみどりの講習会『多肉植物の壁掛けづくり』（市主催）が行われ、参加した21人が思い思いの壁掛け作りを楽しみました。

講習会は、花クラブの会員5人が講師となり、はじめに冬期間の多肉植物（アロエのように葉の肉厚があるもの）の管理方法について説明があり、室内の日の当たる所に置くことや水やりは葉がなえてから与えること、肥料はやらないことなどのお話がありました。

その後、早速取り組んだ壁掛け作りでは、板や金網、水ゴケ、土、ステーブル（釘のようなもの）で土台を作り、そこに多肉植物を奇麗に植えて完成。参加者は、「思ったようにはできませんでしたが、楽しかったです。春になったら外に飾りたいですね」と話してくれました。

秋の日に、日ごろの成果を発表

～第42回市民文化祭のぼりべつ2006～

9月17日(日)から11月26日(日)まで、第42回市民文化祭のぼりべつ2006（登別市文化協会、文化・スポーツ振興財団主催）が、市民会館や鉄南ふれあいセンター、鷺別公民館、婦人センターなどで華やかに行われました。

今年は、第38回音楽発表会を皮切りに菊花展や市民会館サークル展、市民ゲーム大会、特殊教育作品展などの35の催しが行われ、訪れた多くの方を楽しませていました。特に、第6回東日本学校吹奏楽大会のフェスティバル部門で大賞を受賞した登別中学校吹奏楽部の定期演奏会では、素晴らしい演出と演奏で来場者を魅了していました。

活動している市民は、この発表を契機にまた来年に向けて頑張りますと、気持ちを新たにしていました。

